

## 「安全で充実した沢活動実施のための指導者講習会」

### 1. 趣 旨

沢活動を実施する団体の指導者を対象として講習会を実施することで、安全に、そしてねらいが達成できる沢活動の実施を目指す。

### 2. 事業の概要

(1) 参加対象及び人数 沢活動を実施する団体の指導者 各回20名程度

(2) 期日および参加状況 原則として各団体3名までの参加としている

回数	日程1	日程2	日程3	コース	男	女	参加者数
第1回	5月16日	土	午前	上流コース	0	0	0
第2回	5月29日	金	午前	上流コース	1	3	4
第3回	5月29日	金	午後	下流コース	3	0	3
第4回	5月30日	土	午前	上流コース	0	0	0
第5回	5月30日	土	午後	下流コース	0	0	0
第6回	6月6日	土	午前	上流コース	1	1	2
第7回	6月6日	土	午後	下流コース	0	0	0
第8回	6月7日	日	午前	上流コース	0	0	0
第9回	6月7日	日	午後	下流コース	0	0	0
第10回	6月12日	金	午前	上流コース	1	0	1
第11回	6月12日	金	午後	下流コース	3	0	3
第12回	6月13日	土	午前	上流コース	0	4	4
第13回	6月27日	土	午前	上流コース	7	2	9
第14回	6月27日	土	午後	下流コース	5	0	5
第15回	7月4日	土	午前	上流コース	7	3	10
追加1	7月22日	水	午後	下流コース	2	3	5
第16回	7月28日	火	午前	上流コース	1	4	5
第17回	7月28日	火	午後	下流コース	0	0	0
追加2	7月31日	金	午後	下流コース	0	1	1
第18回	8月1日	土	午前	上流コース	6	11	17
第19回	8月1日	土	午後	下流コース	3	2	5
第20回	8月2日	日	午前	上流コース	1	0	1
第21回	8月2日	日	午後	下流コース	1	1	2
追加3	8月5日	水	午後	下流コース	0	0	0
追加4	8月17日	月	午前	上流コース	7	5	12
追加5	8月17日	月	午後	下流コース	5	4	9
第22回	8月21日	金	午前	上流コース	0	0	0
第23回	8月22日	土	午前	下流コース	1	4	5
追加6	8月25日	火	午前	上流コース	0	0	0
追加7	8月28日	金	午前	上流コース	0	0	0
追加8	8月30日	日	午後	下流コース	0	0	0
追加9	9月6日	日	午後	下流コース	0	0	0
	<b>合計</b>				<b>55</b>	<b>48</b>	<b>103</b>

### 3. 企画運営のポイント

- (1) 安全で充実した沢活動実施のために、沢活動における安全や危険箇所、技術について、実際のコースをたどりながら説明し、また、自然の家で推進している体験学習法や沢での様々な活動について情報提供する。
- (2) 午前の上流コース、午後の下流コースとすることで、当所の沢活動の全コースを網羅したプログラム展開になっている。
- (3) 指導者自身が参加者の立場になって楽しむことで、沢活動の楽しさを実感して参加者に伝えられるようにする。

### 4. 日程

	午前の部：上流コース	午後の部：下流コース
・ 集合・受付開始・着替え	8：40～	13：00～
・ 沢活動（講習及び実地踏査）	9：00～12：30	13：30～16：00
・ アンケート記入・資料配布	12：30	16：00

### 5. 主な活動内容



装備品等の詳しい説明



危険回避のポイント確認



沢の楽しさを体験

### 6. 成果と課題

#### (1) 参加者アンケート結果

満足：94.7% やや満足：5.3% やや不満：0% 不満：0%

#### (2) 参加者の声

- ・ 準備等の流れにそって説明していただいたので、分かりやすかった。
- ・ 危険な箇所や楽しめるポイントがわかり大変参考になりました。
- ・ ポイント地点での子供たちへの効果的な声かけについて聞くことができてよかった。

#### (3) 成果

- ・ 職員用の講習会説明用資料を作成し共有することで、担当職員による講習内容の違いがでないようにすることができた。
- ・ 感染症の影響で沢講習会への参加が難しい学校・団体のために、追加で9回講習会を設定することで各団体のニーズに応えることができた。
- ・ 前年度の反省を生かし、荒天時の説明資料を用意し、活用したことで、荒天の回もある程度充実した内容で講習会を行うことができた。

#### (4) 課題

- ・ 感染症の影響もあり、参加者総数が前年度の半数程度であった。また、講習に参加しなかったり、実地踏査を行わなかったりして、沢活動を行おうという団体も見られた。講習参加や実地踏査の重要性を広く知らせることで、より安全で充実した沢活動にしていきたい。

担当：企画指導専門職 黒田 守道